

# 熊本駅白川口（東口）駅前広場 整備事業について

## 目 次

1. これまでの経緯
2. 白川口駅前広場のレイアウト（案）について



平成30年2月9日（金）

熊本市 熊本駅周辺整備事務所



# 1. これまでの経緯

# ■熊本駅周辺整備の歩み

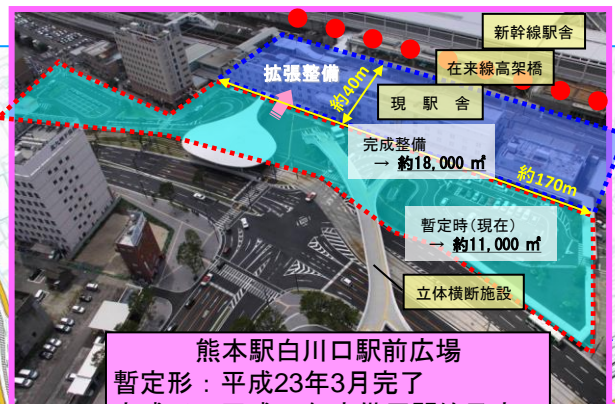


- 平成13年 連続立体交差事業、土地区画整理事業、周辺街路等の都市計画決定
- 平成14年 連続立体交差事業(4km、1km)事業認可
- 平成15年 連続立体交差事業(延伸2km)都市計画変更、認可変更
- 平成16年/3 九州新幹線 新八代～鹿児島中央駅間部分開業
- 平成16年/10 「熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会」設置、第1回協議会開催
- 平成17年/6 「熊本駅周辺地域整備基本計画」策定、県市協定の締結
- 平成18年 「熊本駅周辺整備に関するトップ会議」設置  
「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」設置
- 平成23年/3 九州新幹線鹿児島ルート全線開業
- 平成27年/3 鹿児島本線上り線高架化完了
- 平成30年/3 鹿児島本線下り線及び豊肥本線高架化完了 (予定)

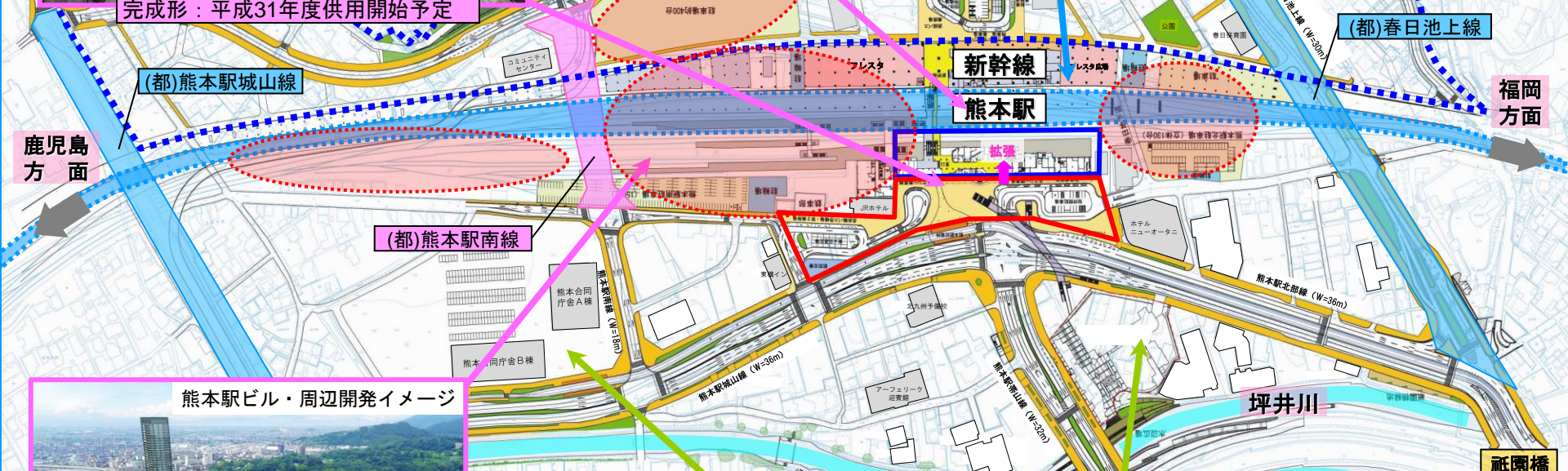
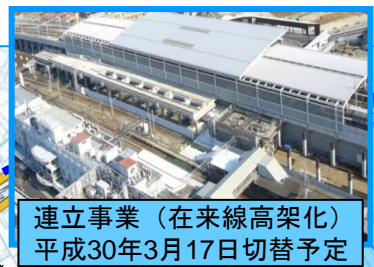
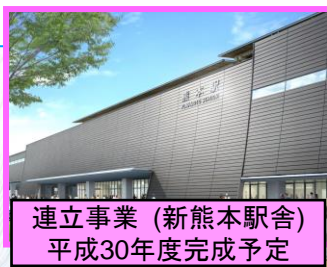




# ■熊本駅周辺整備の状況



熊本駅白川口駅前広場  
暫定形：平成23年3月完了  
完成形：平成31年度供用開始予定



白川

凡例  
整備完了 ■  
整備中 ■  
今後着手 ■

②-3





# ■熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会

## ◇掌握事務

- ① 熊本駅周辺地域の整備計画に関すること
- ② 熊本駅周辺地域のまちづくりに関すること
- ③ その他、熊本駅周辺地域整備の推進に関すること

## ◇委員構成

- ① 学識経験者(2名)  
岸井教授(日本大学)、両角名誉教授(熊本大学)
- ② 地元代表者(6名)  
地元3校区の自治協議会長及び委員(春日・古町・白坪)
- ③ 公募委員 (5名)  
市民代表
- ④ 地元経済界(3名)  
熊本商工会議所、熊本経済同友会、熊本青年会議所
- ⑤ 行政機関 (13名)  
国、県、市(企画、都市計画、建築、土木)

## ◇経緯

平成16年10月1日に第1回の協議会を開催し、これまでに14回実施

(前回は平成29年2月6日)



# ■これまでの協議会における主な議題

## 1) 計画関係

- ・熊本駅周辺地域整備基本計画（平成17年6月策定）
- ・JR鹿児島本線鉄道高架及び熊本駅周辺等の整備に関する協定（平成17年6月締結）
- ・熊本駅周辺整備に関するトップ会議（平成18年開始）
- ・熊本駅周辺地域都市空間デザインガイド（平成19年7月策定）

## 2) 基盤整備

- ・JR鹿児島本線・豊肥本線連続立体交差事業（新駅舎計画）
- ・熊本駅前東A地区第二種市街地再開発事業
- ・駅前広場整備事業（白川口、新幹線口）
- ・熊本市電計画（サイドリザベーション、駅舎乗り入れ）
- ・新幹線駅舎計画、合同庁舎移転計画、高架下利活用計画、白川河川敷利活用計画 等

## 3) まちづくり

- ・九州新幹線開業に向けた取り組み
- ・九州新幹線全線開業後の動向
- ・都市景観大賞受賞（平成25年度） 等

# ■ 第14回まちづくり推進協議会(前回)の振り返り

## ■ 開催日時

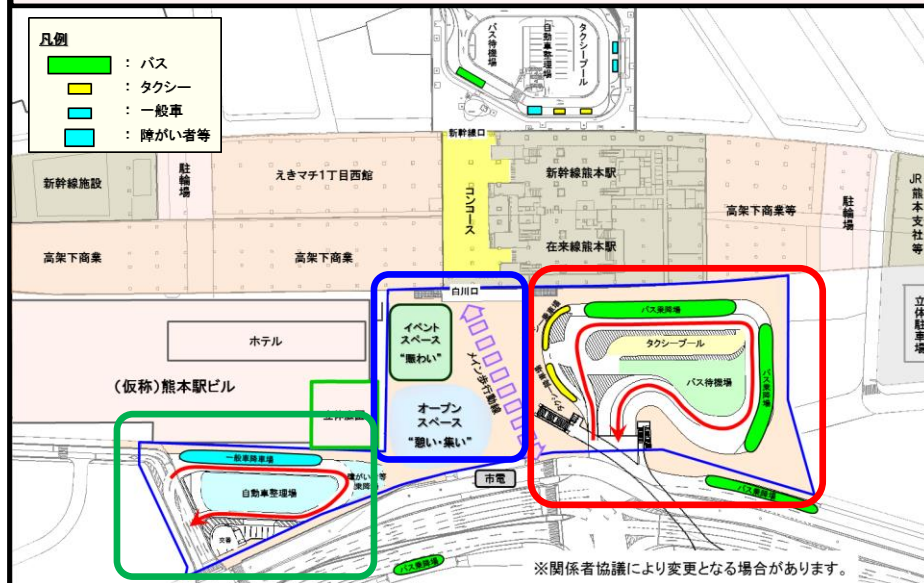
平成29年2月6日 (月) 13時30分 ~

## ■ 議題及び説明概要

- 1) これまでの取り組みについて
- 2) JR鹿児島本線等連続立体交差事業について
  - ⇒ 連立事業の進捗状況等を説明
- 3) 熊本駅白川口(東口)駅前広場整備事業について
  - ⇒ ゾーニング(案)の説明
- 4) その他

## ■ ゾーニングの概要

- 【北側】バスとタクシーを集約した公共交通ゾーン
- 【南側】一般車等の単独空間とした一般交通ゾーン
- 【中央】賑わい・憩い・集いを創出する広場ゾーン



## ■ 主な意見

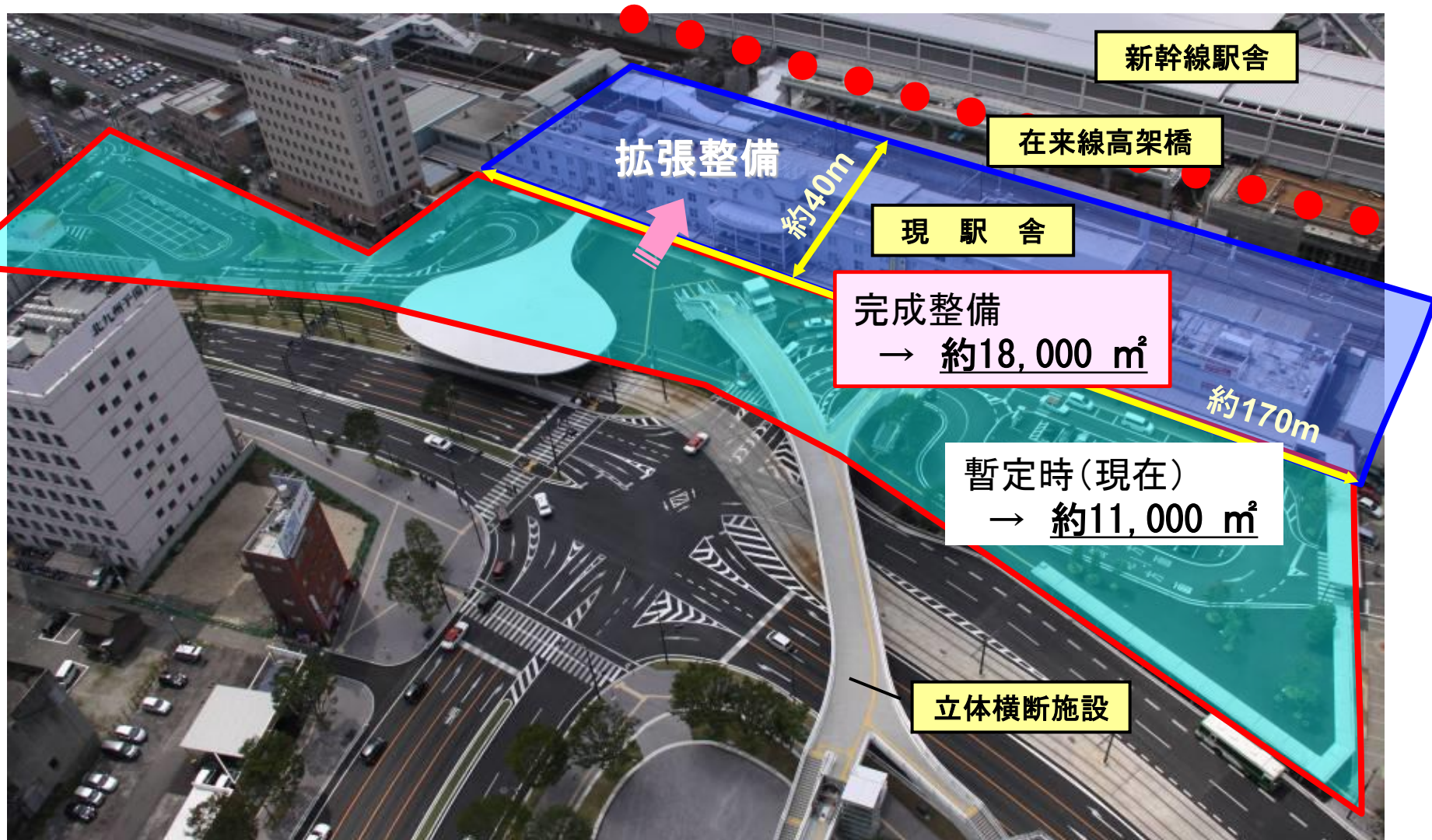
- ・駅周辺における今後のまちづくりについて
  - ・イベントスペースの利活用について
  - ・トイレの設置(ラチ外)について
  - ・新幹線口の課題解決について
- ⇒ 今後も継続的な協議調整を行っていく
  - ⇒ 駅前広場の整備計画において検討を行っていく
  - ⇒ 部分改良工事を発注済(現在、入札手続き中)  
料金体系の見直しを検討中



## 2. 白川口駅前広場のレイアウト(案)について



# ■熊本駅白川口駅前広場整備の概要



# ■熊本駅白川口駅前広場計画について(H29.11.8公表)



完成形の熊本駅白川口駅前広場計画については・・・

- 1) 配置計画の見直し
- 2) 熊本地震の経験
- 3) 駅舎、JR開発計画との調整

を踏まえて、

『新たなコンセプト』を設定

## 【新たなコンセプト】

- 機能的かつ開放的な空間 ⇒ サブターミナル、交通広場等の機能を分担するとともに、出来る限り広場空間を確保し、賑わい・交流を演出
- 災害時の広場機能の確保 ⇒ 避難場所、復旧・支援活動の拠点として活用
- 連続的で快適な動線 ⇒ 各交通機関の乗降場まで雨に濡れない、明るい動線を確保
- 駅舎、駅ビルとの調和 ⇒ 景観的調和、駅ビル・駅舎に対する視点場への配慮
- くまもとらしさの表現 ⇒ 県産木材の配置、水と緑による「くまもとらしさ」の演出





# ■熊本駅白川口駅前広場レイアウト(案)

## ■ 完成形の駅前広場整備計画

### 【新たなコンセプト】

- 機能的かつ開放的な空間 ⇒ サブターミナル、交通広場等の機能を分担するとともに、出来る限り広場空間を確保し、賑わい・交流を演出
- 災害時の広場機能の確保 ⇒ 避難場所、復旧・支援活動の拠点として活用
- 連続的で快適な動線 ⇒ 各交通機関の乗降場まで雨に濡れない、明るい動線を確保
- 駅舎、駅ビルとの調和 ⇒ 景観的調和、駅ビル・駅舎に対する視点場への配慮
- くまもとらしさの表現 ⇒ 県産木材の配置、水と緑による「くまもとらしさ」の演出

**熊本駅ビル**  
 商業(シネマコンプレックス含む)  
 結婚式場(多目的バンケット)  
 ホテル

コンコース

新幹線熊本駅

在来線熊本駅

### 凡例

- : バス
- : タクシー
- : 一般車
- : 障がい者等



※関係者協議により変更となる場合があります。

# ■熊本駅白川口駅前広場計画に関するアンケート調査



◇調査目的：駅正面に設ける開放的な広場空間について、

- 1) 利用方法や要望等を把握する。
- 2) 熊本駅に対する県民市民の関心や機運を高める。

◇調査方法：①インターネット ②調査票（各区役所、森都心利用者、地元4校区）

◇周知方法：・熊本市からの広報（ホームページ、ツイッター、市政だより 等）  
・案内ポスター など

◇調査期間：平成29年12月16日 から 平成30年1月23日

◇調査状況：①回答数：915件

②回答数：128件

⇒ **合計1,043件の回答**

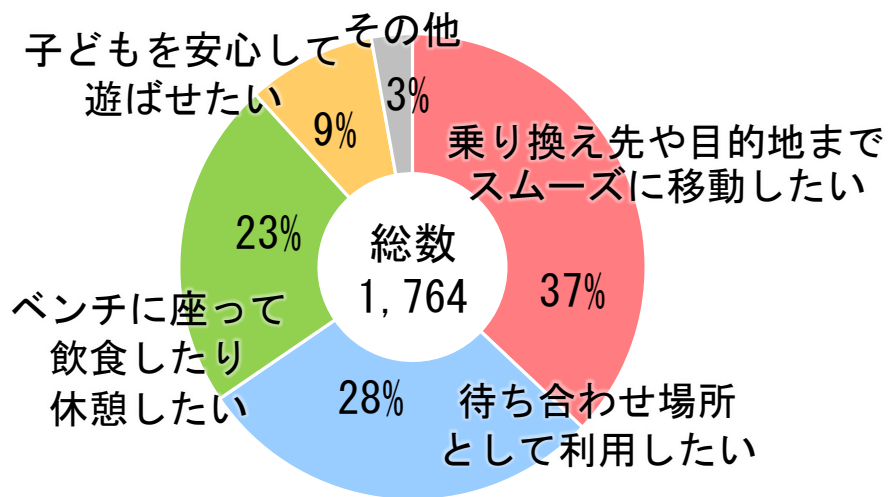
※市内88%、県内他市町村8%、県外4%





# ■アンケート調査の結果①

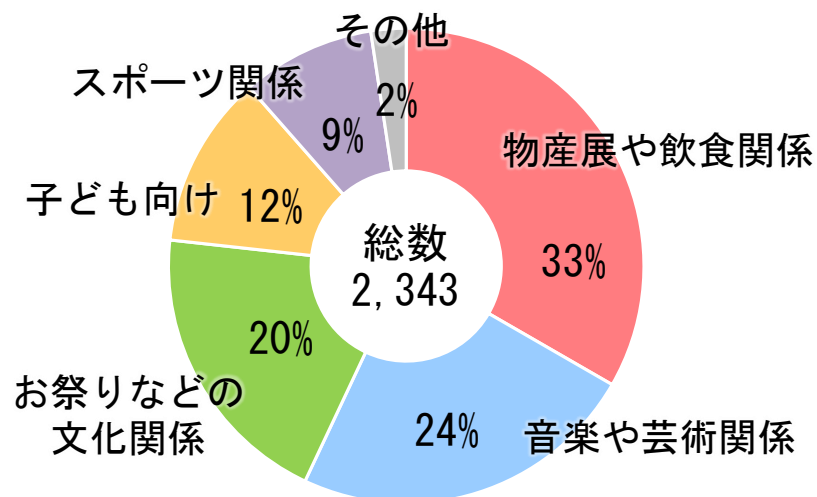
Q. 駅の正面に広い広場空間を設けますが、日常的にはどのように利用したいと思いますか。  
(複数可)



## 《その他》の主な意見

- ・ 日常的にイベントがあれば行ってみたい
- ・ 災害時には防災広場として利用して欲しい
- ・ 海外の駅広のような何もない空間として利用

Q. 広場空間ではどのようなイベントがあれば行ってみたいと思いますか。具体的なイベントもお書きください。(複数可)



## 《その他》の主な意見

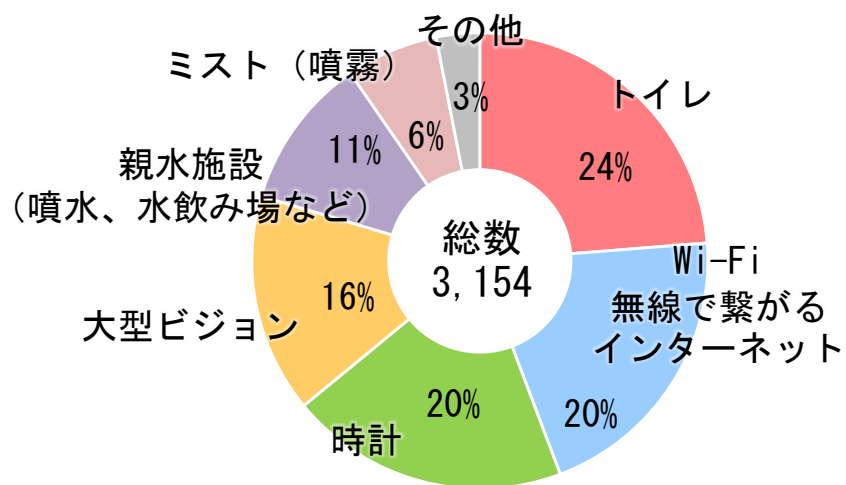
- ・ 博多駅など他都市を参考にして開催して欲しい
- ・ 季節限定のイベント(クリスマスマーケット等)
- ・ 時間帯によるイベント(イルミネーション等)
- ・ 隔週で開催するなどいつでも賑わいのある駅広



## ■アンケート調査の結果②

Q. 広場空間にはどのような施設や設備があれば良いと思いますか。具体的な施設や設備もお書きください。（複数可）

※屋根、サイン、ベンチ、照明、樹木は整備

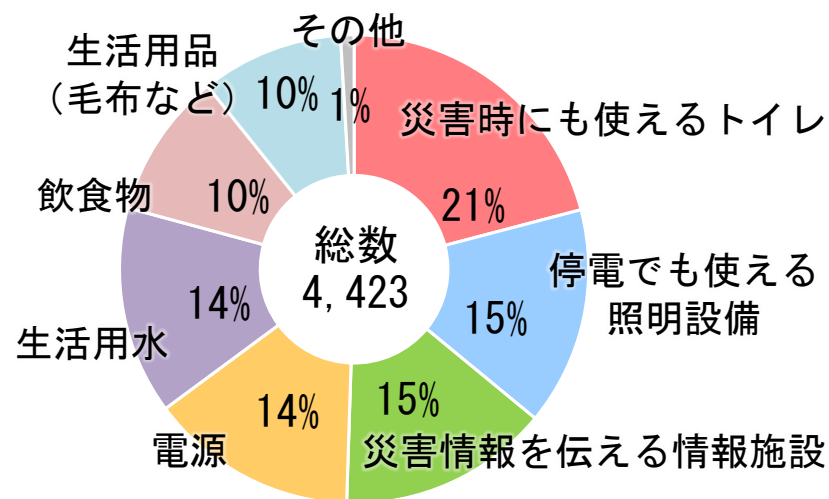


### 《その他》の主な意見

- ・ 多様な案内表示（多言語、観光、イベント等）
- ・ 「森の都」に相応しく日陰も作れるような樹木
- ・ イベント用の常設ステージや電源、音響など
- ・ モニュメントなど駅前のシンボルとなる施設

Q. 災害発生直後の一時的な避難場所としてどのような施設や設備があればあれば良いと思いますか。具体的な施設や設備もお書きください。（複数可）

（複数可）



### 《その他》の主な意見

- ・ どんな気候や気温でも凌げるような設備
- ・ 防災グッズや支援物資をまとめるような倉庫
- ・ 対応できる空間（障がい者、妊婦、ペット等）
- ・ 日常的に使う施設を災害時にも活用させる工夫



# ■アンケート調査の結果③【意見のまとめ】

## 交通に関すること

- スムーズな乗り換え動線の確保
- 安全な動線の確保
- 歩行者、自転車、待ち列の分離
- 市電の利便性向上
- 一般車の利便性の向上
- 中心市街地と駅の回遊性の向上

## 施設に関すること

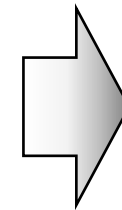
- 案内機能の充実
- 日光や雨を遮る屋根の確保
- トイレの設置（平常時・災害時）
- 休憩機能の充実
- 防災機能の確保
- 通信機能の確保（ビジョン、Wi-Fi）

## 景観に関すること

- 陸の玄関口にふさわしい空間形成
- 熊本らしさの表現
- 賑わいや活気のある空間を演出
- 安らぎを与える空間を確保
- シンボリックな空間を創出
- 駅舎や駅ビルとのデザイン調和

## 運用に関すること

- イベントの開催で賑わいを創出  
定例：飲食、物販、文化等  
限定：イルミネーション等
- 緑やベンチで憩いを確保
- 待ち合わせ場所の確保
- 災害時も利用可能な機能性の確保



駅前広場計画の確定（配置・施設物・運用等）

# ■熊本駅周辺整備スケジュール(案)



駅広供用開始

駅部高架切替

(H30.3.17予定)

連立事業完成

		平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
連立	高架工事 (熊本駅部) 【熊本県】	鹿兒島本線下り 豊肥本線		駅舎 外壁工事		
	街路	設計		工事		
JR	駅ビル	設計			工事	